



国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料	平成28年3月18日
配布日	

- 同時発表先：岡山県政記者クラブ
岡山市政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

たかはしがわしおどめぜきぎょどう

高梁川潮止堰魚道の改良が完成！

完成記念に稚アユ放流を地元保育園園児らと行います。

施設の老朽化等に伴い魚類の遡上が困難となっていた高梁川潮止堰^{ぎょどう}魚道（魚の通り道）について、平成21年度より機能向上のための改良を進めていきましたが、今年度末に完成いたしました。

新しくなった魚道をたくさんの魚がのぼり、高梁川がより豊かな川になるようにとの願いを込めて、上成保育園園児のみなさんと高梁川漁業協同組合にご協力をいただき稚アユの放流を行います。

記

日時：3月28日(月)10時00分～

(気象条件により実施ができない場合、翌日29日に延期)

場所：高梁川潮止堰 右岸(西岸)側高水敷(上成地先) (別添参照)

実施内容：稚アユ放流、事業概要説明等 (詳細は別添参照)

平成27年度の工事状況 (3号魚道)



魚道本体の改良完成



棚田式魚道の完成



魚道の施工状況

<問い合わせ先>

○国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 086-223-5101 (代表)

【担当】副所長 (技術) 庄司 俊介

管理第一課長 安達 淳

岡山河川事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

取材をされる方へ

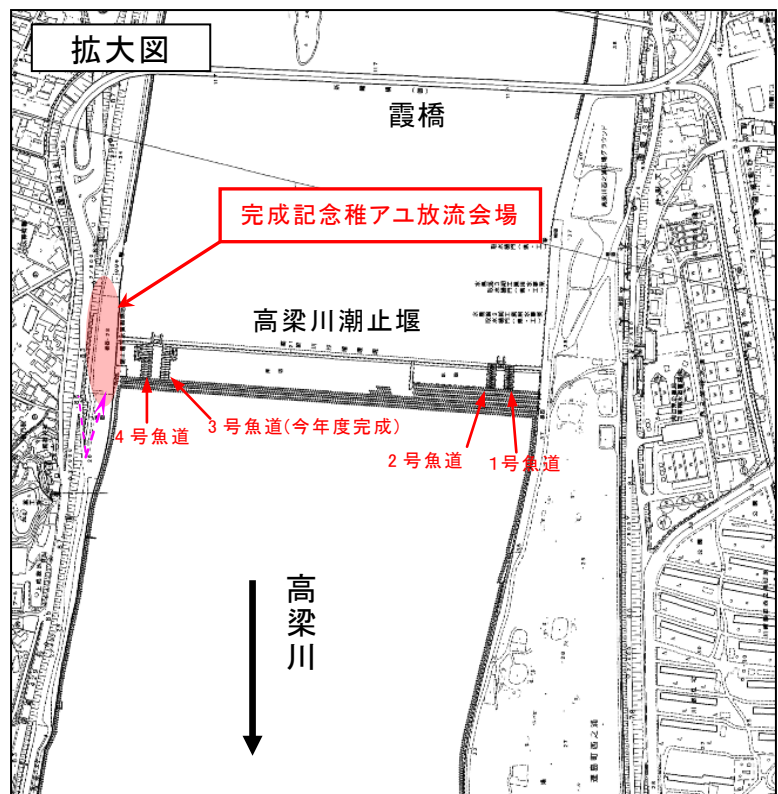
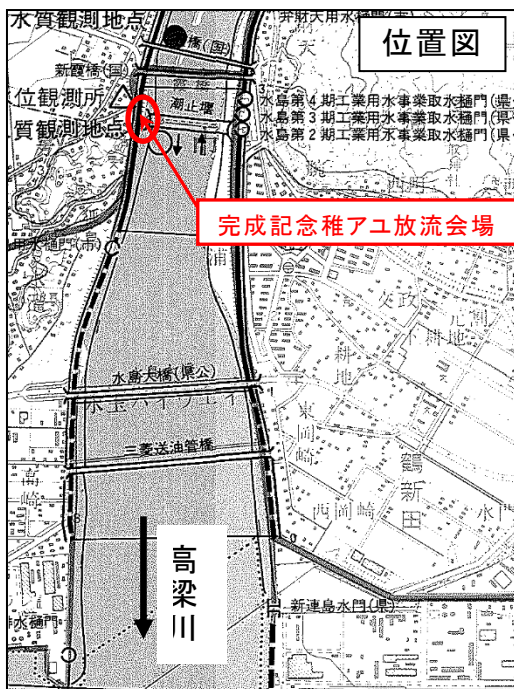
報道関係の方は、3月28日(月)10:00までに会場にお越し願います。

【完成記念稚アユ放流 概要(予定)】 10:00開始

- ・ 開会
 - ・ 岡山河川事務所長挨拶、来賓のご紹介
 - ・ 事業概要説明
 - ・ 高梁川のアユ等に関するお話 (NPO 法人倉敷水辺の環境を考える会)
 - ・ 稚アユの放流 (上成保育園、高梁川漁業協同組合)
 - ・ 記念撮影
 - ・ 閉会
- 10:30頃終了予定

【参加者(予定)】

- ・ 上成保育園 (園児ら約40名)
- ・ 高梁川漁業協同組合
- ・ NPO 法人倉敷水辺の環境を考える会
- ・ 岡山県企業局工業用水道事務所
- ・ (株)藤原組(施工業者)
- ・ 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所



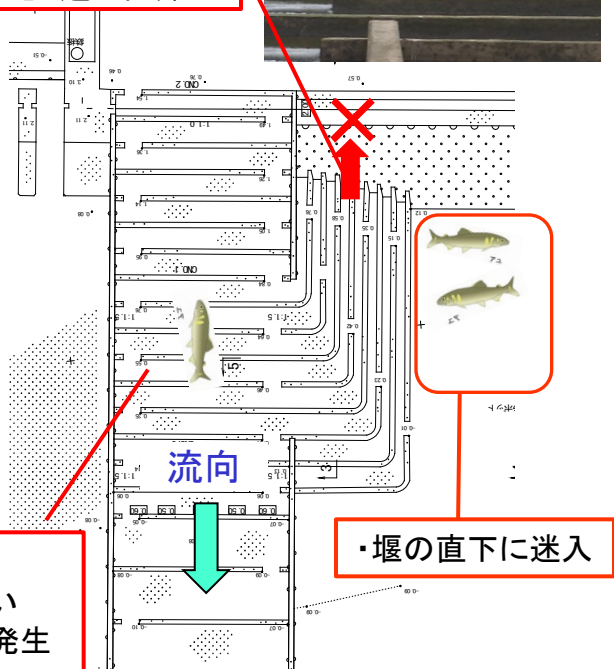
【参考】3号魚道の改良について（今年度完成箇所）

整備前

〔補助魚道〕
・段差が大きく遡上困難



平面図



〔既設魚道〕
・流れが速い
・剥離流が発生

・堰の直下に迷入

流向

隔壁の横断面図

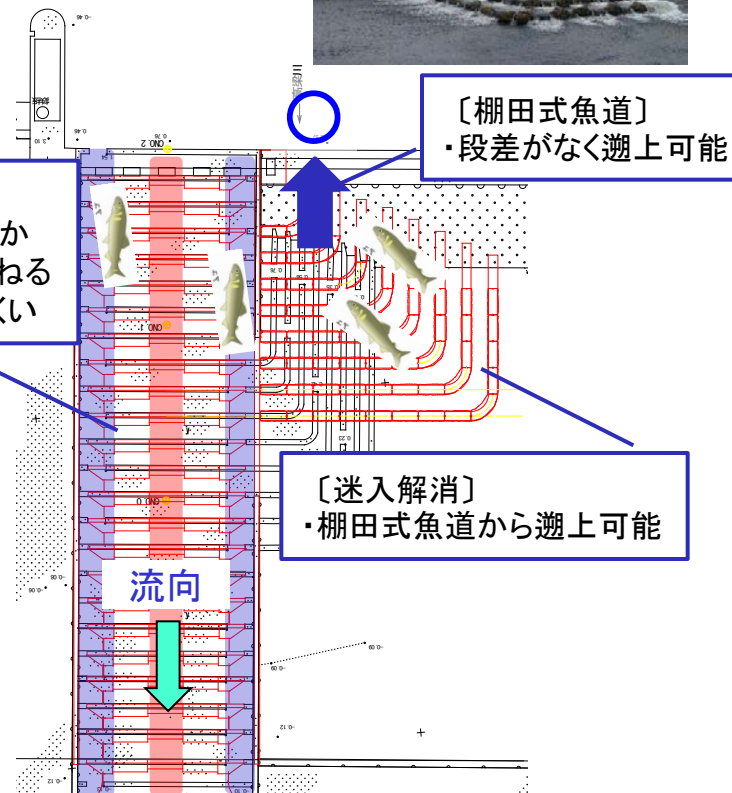
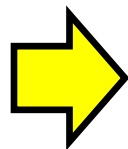
フラットな構造であり、流量変化に対応できる範囲が狭い

整備後

〔改良魚道〕
・両側の流れが緩やか
・中央は呼び水を兼ねる
・剥離流が発生しにくい

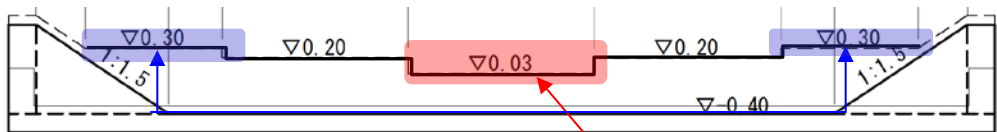


〔棚田式魚道〕
・段差がなく遡上可能



〔迷入解消〕
・棚田式魚道から遡上可能

流向



両端部の隔壁高を高くして水深を浅くし、緩流域を形成することで、小型魚の遡上を可能にする。

中央部を低くして流速を高め、呼び水効果により、遡上魚を魚道入口周辺へ誘導する。

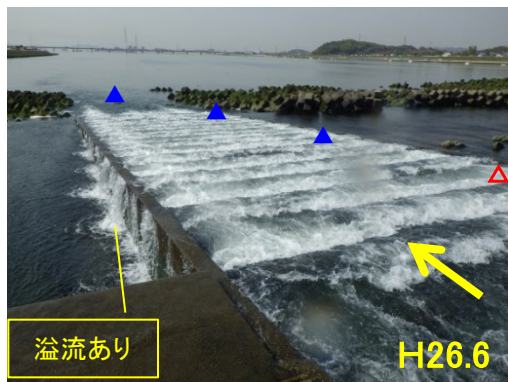
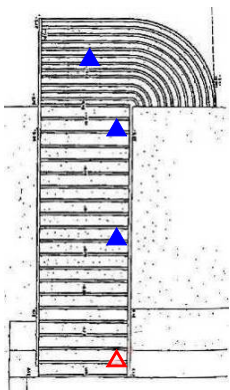
多段構造であり、流量変化に対応できる範囲が広い

【参考】2号魚道の整備効果（平成26年度完成箇所）

2号魚道の整備効果：流況の改善

改良前

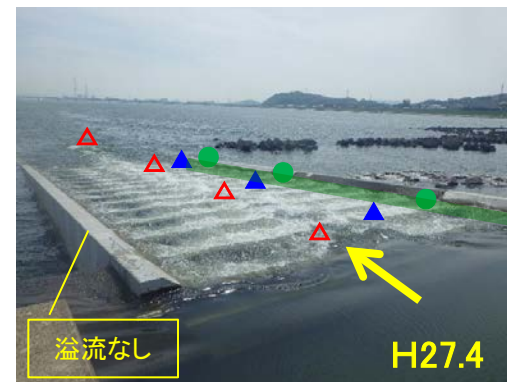
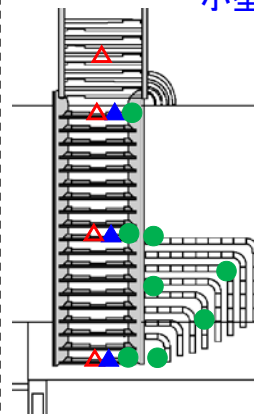
- ・流量が少なくても魚道内は泡だらけで、流況が乱れて、遡上が困難になる。
- ・流量が増えたと、側壁から溢流する。
- ・流速は全面的に速く、小型魚の遡上が困難。



- △: 稚アユが遡上困難な1.2m/s以上となる調査回数の半分以上
- ▲: 1.2m/s以上となることが半分以下
- : 1.2m/s以上とならなかった（遡上しやすい）

改良後

- ・流量が多いが、泡立ちが少なく、流れが剥離していない。
- ・流量は増えても、側壁から溢流しない。
- ・魚道の両側と棚田式魚道には緩流域があり小型魚の遡上が容易。

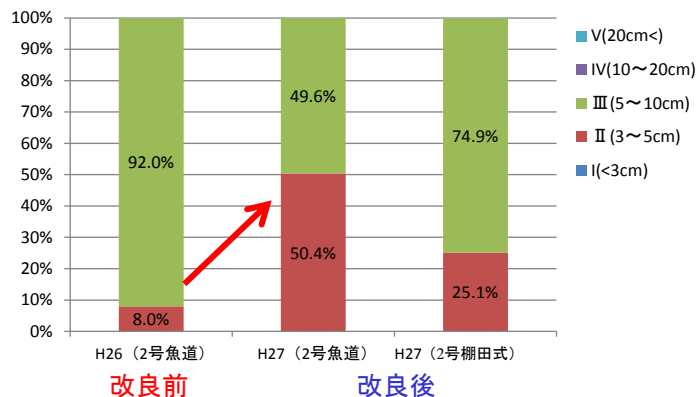


アユの体長別の遡上状況からみた整備効果

- ・改良した2号魚道では小型個体の遡上割合が上昇。
- ・増設した2号棚田式魚道でも、小型個体の遡上割合が多い。



- ・小型魚でも遡上できる魚道に改良されたことが確認されている。



改良前後におけるアユの体長別の遡上状況(H27.5調査結果)